

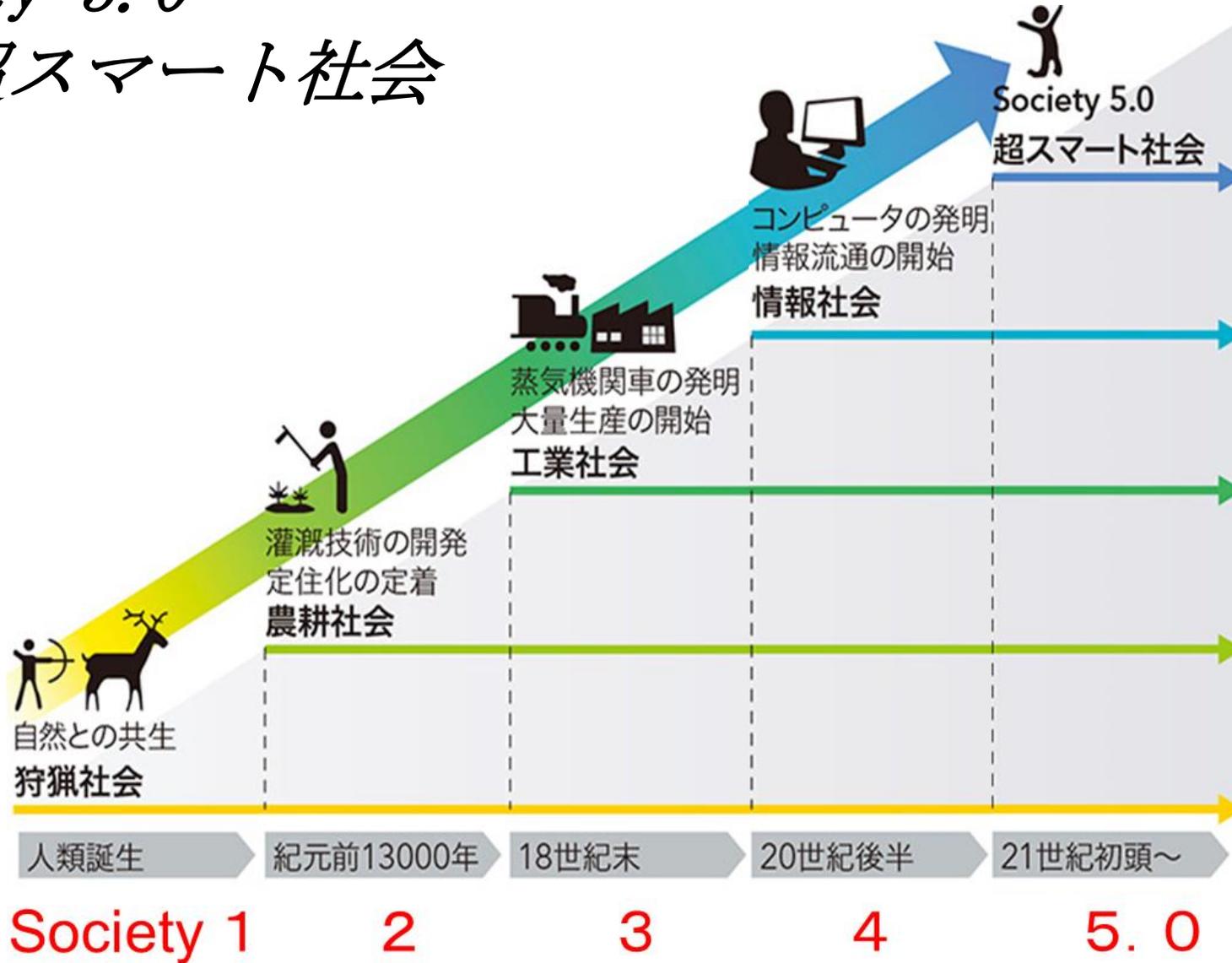


# 電気通信大学が目指す 超スマート大学像とAIA

---

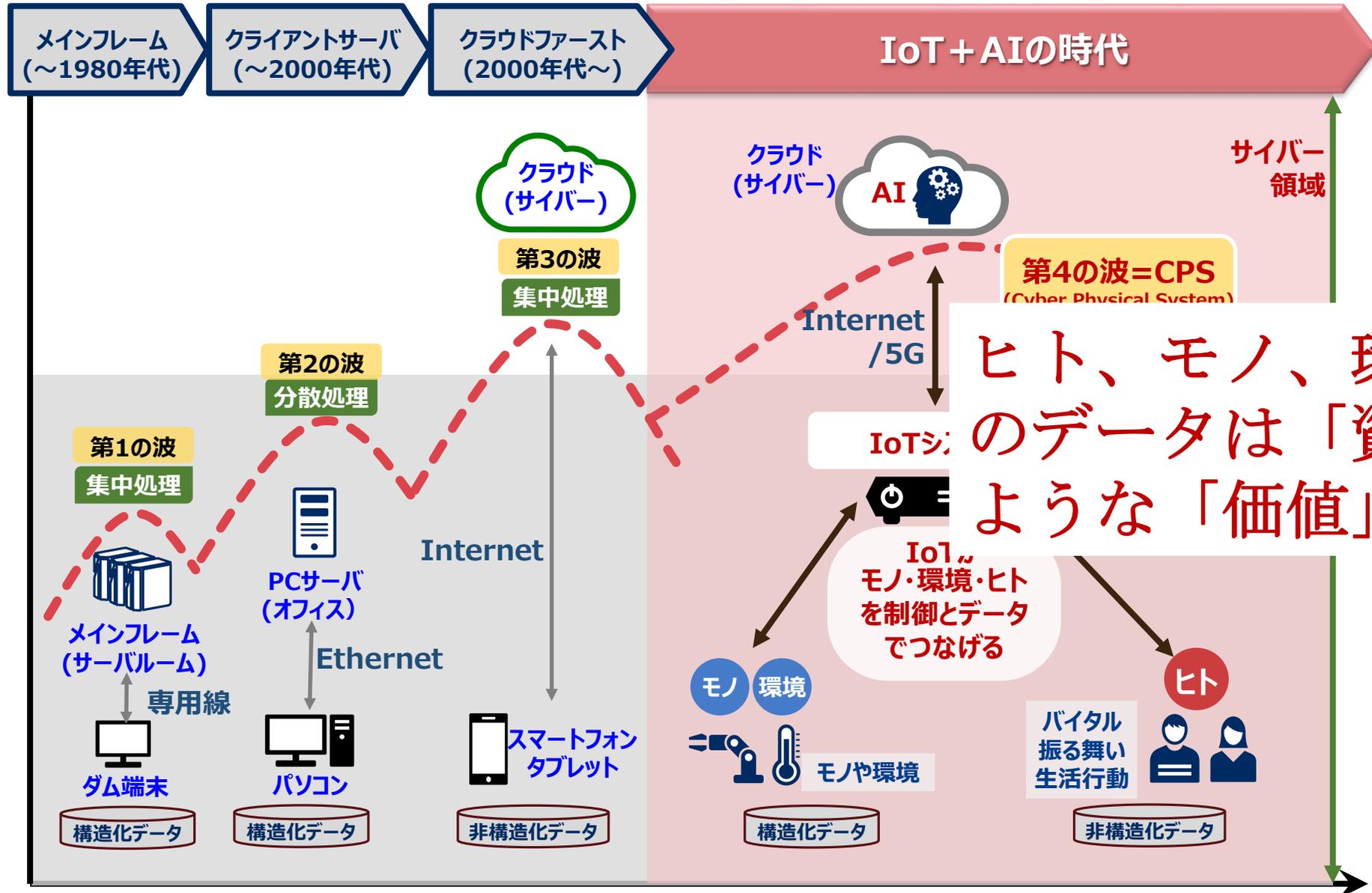
岡山 義光（キャンパス情報基盤担当）

# Society 5.0 =超スマート社会

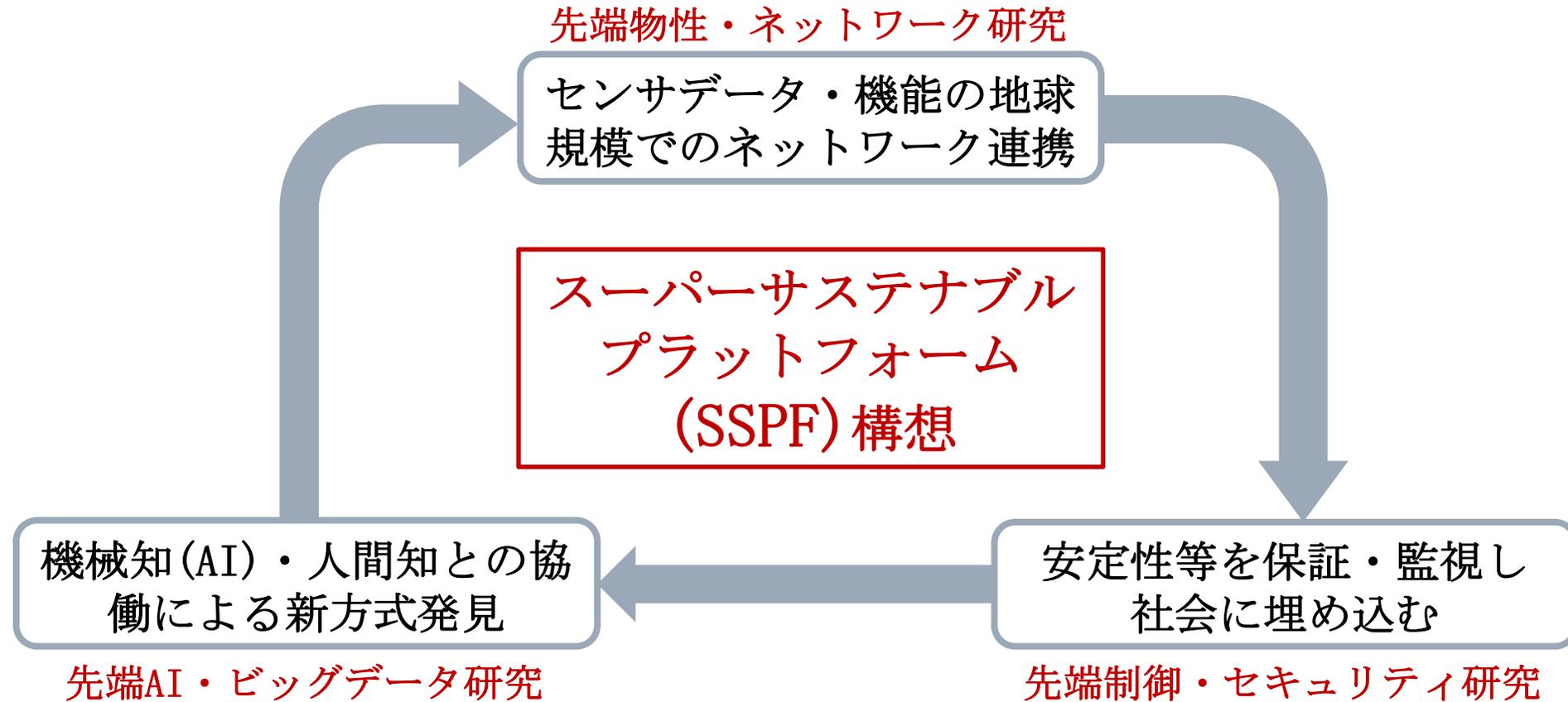


サイバー空間と  
フィジカル(現実)  
空間が高度に融合  
した人間中心社会

# AIとIoTが創るCPS (Cyber Physical System)



# 電通大が提唱するデータと機能を連携させるプラットフォーム



2017-2020; JST

# 電通大が自ら実現する超スマート社会 ＝超スマート大学

ヒト、モノ、環境などのデータから  
新しい知を生み出す取り組み

AIとIoTにより認知症高齢者問題を  
多面的に解決する東京アプローチの確立  
(東京都事業)

SPF) 構

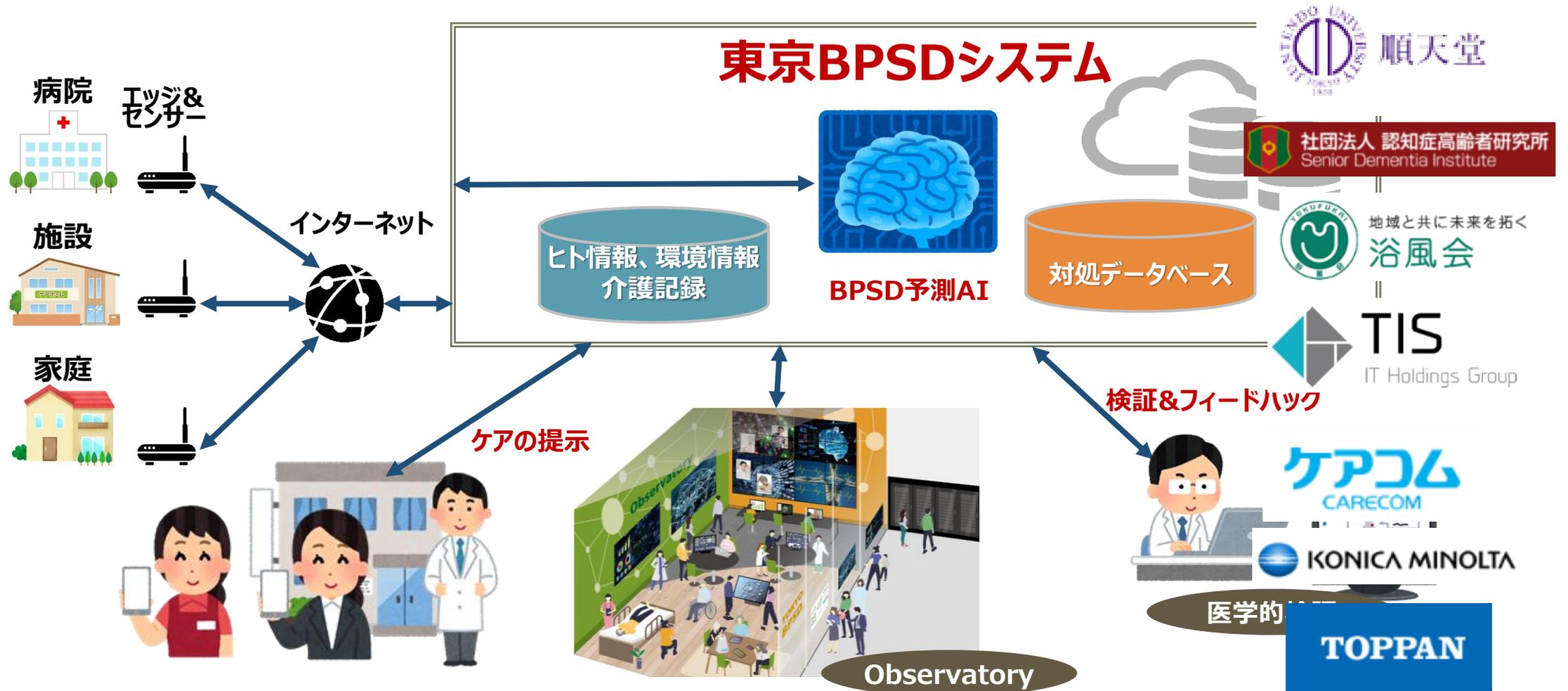
BPSD予測・予防により介護負担を軽減する  
認知症対応型AI・IoTサービスの開発と実装  
(総務省AMED事業)

採択/認可済み

本学のスマート大学の象徴ともなう  
施設整備の文科省認可  
(東33/34号館、東36/37号館)

# 電通大が自ら実現する超スマート社会 = 東京アプローチの例

AIとIoTを用いて認知症の発症・進行プロセスの解明、認知機能障害者への支援策やBPSD防止支援策を導くことで、認知症高齢者自身のQOLの向上、家族・介護者の負担軽減を図る。



# 電通大が推進する学内の(超)スマート化

## 教育・研究・事務のデジタル化

With/コロナ、After/コロナを想定した  
在宅勤務など新しいワークスタイル

ペーパーレス、帳票レス、押印レス  
などの事務のデジタル化

学内のICTインフラの刷新  
(2022年度)

学内ワークスペース環境のクラウド化  
(2022年度)

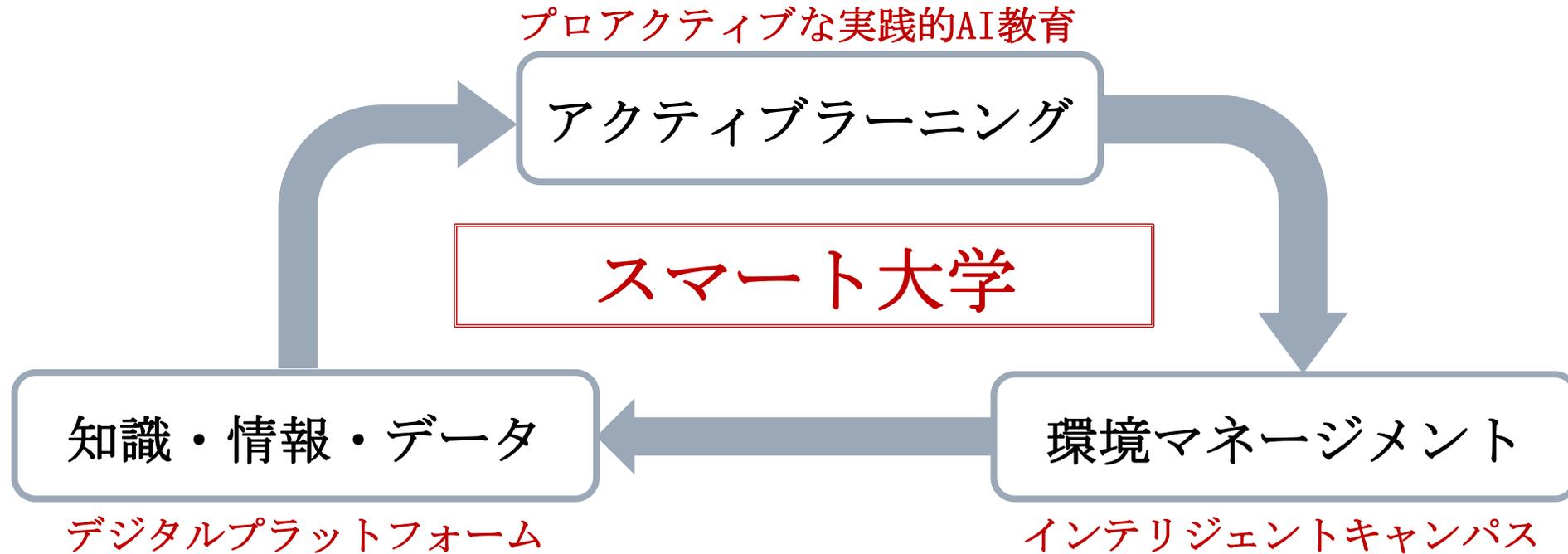
教員・学生・事務の垣根を超え、お互いのエンゲージメントを  
活性化させるデジタルコミュニケーション



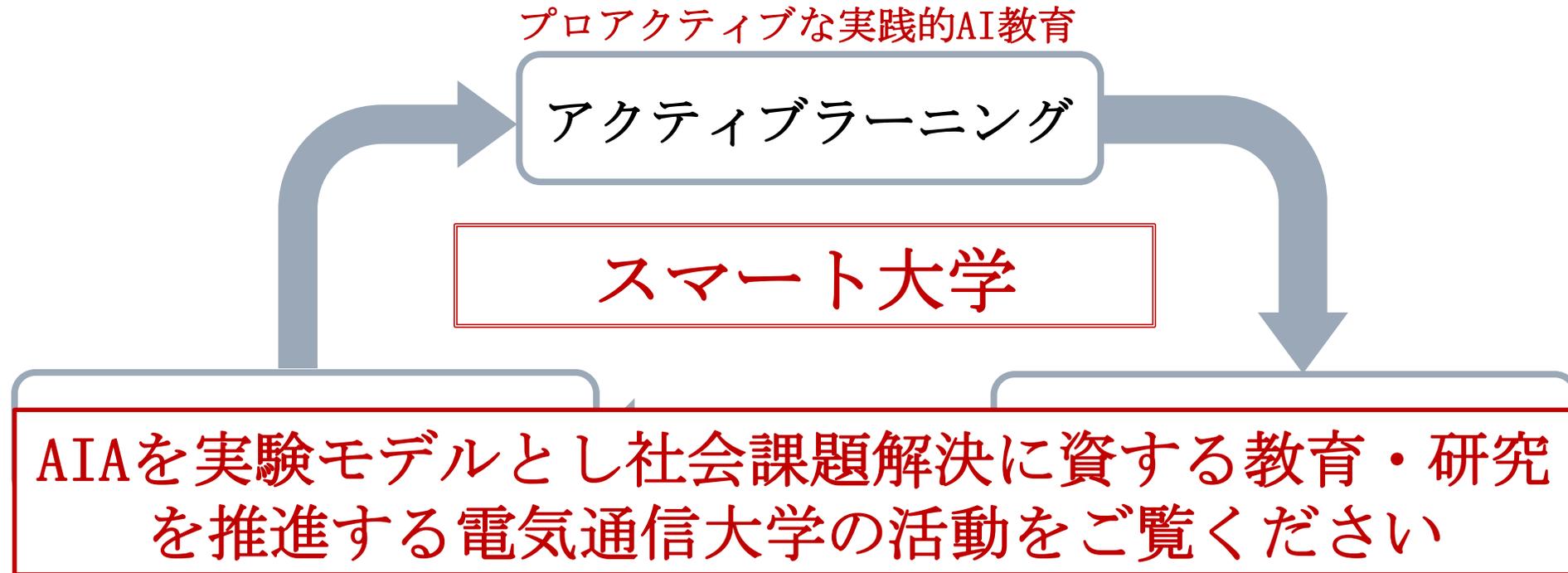
# *Ambient Intelligence Agora*

付属図書館内にアンビエント情報環境を取り入れた  
アクティブラーニング空間

# 超スマート大学のモデルとしての電通大、そしてAIA



# 超スマート大学のモデルとしての電通大、そしてAIA



2050年問題(6人に1人が高齢者)  
に備える教育・研究活動

コロナなどパンデミックに  
備えた研究開発

2050年カーボンニュートラル(CN)  
実現に資する研究